

< 6. 医学的に介入すべき重症化する患者をどうやって拾い上げるか >

新型コロナウイルスの 80%は軽症であることは、「2. 新型コロナウイルスによる病気ってどんな病気？」でも書きました。軽症の場合は特に治療薬も不要で、普通の風邪として治ってしまいます。

通常の風邪（ウイルス性上気道炎）は患者の免疫が自然と治してくれますので、私たちが診療を行う際に気をつけているのは、以下の点です。

- 全身状態が悪くなっていないか
- 合併症を起こしていないか：脱水など

これらは、新型コロナウイルス感染症のみに関連したものではありません。「動けない」「水分も飲めない」「おしっこが少ない」「意識が悪い」などの症状がある場合は、一般的に医療機関（診療所や病院）での対応が必要になります。

特に最初の 1 週間までは一般的な風邪と見分けられない以上、すべての患者にレントゲンを撮影したり、PCR の検査を行うことは無駄が多くなってしまいます。PCR 検査については、「5. PCR 検査は誰に行うべきか」もご参照ください。

ここでのポイントを整理しましょう。

- 新型コロナウイルス感染症だとしても、多くが軽症に分類され無治療で自然に治る
- 医療機関に患者が殺到すると、医療資源が不足してしまって、死亡者が逆に増える可能性がある
- 一部の患者が重症化するものの、発症から 1 週間前後は見分けがつきにくい
- 重症の患者だからといって、確立した治療方法があるわけではない

無治療で安静にしているだけの軽症患者と様々な装置を使用しないとイケない重症患者どちらが入院して十分な医療を受けるべきでしょうか。

幸いにも、様々な研究から重症になりやすい患者群が分かってきました。

- A) 患者
- B) 経過
- C) 症状
- D) 検査

A) 患者

現在重症化する可能性が高い患者は、

- 年齢：60歳以上で致死率が高くなる傾向があります
- 慢性基礎疾患：高血圧症、糖尿病、慢性呼吸器疾患（COPDなど）、心疾患など

が挙げられています。逆に言えば、若年の、治療中の病気がない方は、たとえ感染したとしても軽症で自然に治る可能性が高くなります。

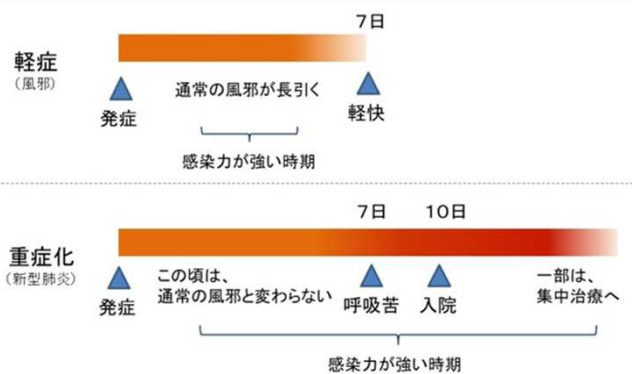
もちろん、軽症で終わるから感染しても大丈夫と言うつもりはありません。例え、その方が軽症で終わっても、感染を広げてしまい最終的に重症化しやすい方に感染させてしまっは意味がありません。軽症の場合でも、ハイリスクになりやすい方に感染を広げないような行動を心がけてください。

A) 経過

多くの風邪（咳・鼻水・喉の痛みを伴う上気道炎）は3日前後で熱は下がります。1週間も熱が出続けるのは、普通の風邪ではありません。そのような場合には、普通の風邪以外の原因を調べる必要があると思いますので、この時点で医療機関の受診を検討してください。咳や息切れがあつて医療機関を受診する場合は、予め連絡をして受診の仕方を確認してください。医療機関には他にも多くの患者がいますので、新型コロナウイルスに限らず、うつきさないようにご協力をお願いします。

最初の診察時点で軽症と判断しても、症状が分かりにくく重症化する病気が隠れていることがあります。それは、新型コロナウイルス感染症以外でも同様です。特に新型コロナウイルス感染症の場合、7日目までに症状が悪化して入院することが多いとされています。重症化するかはココが分岐点になると思いますので、当地域では診察後に電話で症状を確認する方法をとっています。診療所などでのパンフレットをご参照ください。

新型コロナウイルス感染症の典型的な臨床経過



※ これまでの報告をもとに高山作成。一部は推定を含む。

発熱あるいは呼吸器症状のある患者さんへ



いつも中東遷地域の診療にご協力いただき、ありがとうございます。
当地域の健康を守る医師一同、みなさまが現在の病状から回復できるように努力します。一方で、医療リソースには限界があり、みなさま全員の不安を払拭し満足できる医療を提供することは難しい場合があります。ご理解をいただき、自らと周囲の人たちを守る冷静な対応につきましてご協力をお願いいたします。

当地域では以下の順番で対応をさせていただきます。

1. 医師が、緊急性があると判断する場合：体内の酸素の量が低い場合や食事・水分が摂れない場合など
2. 治療方法がある病気が疑われる場合：細菌感染症や心不全など

全身状態が悪ければ入院の必要があります

肺炎が起きていなくても、全身状態が悪ければ入院での対応が必要になります。これは原因となる病気や病原微生物とは関係ありません。

新型コロナウイルスだけが重症ではありません

肺炎球菌という細菌は適切に治療されなければ死亡率は15%前後とされていますが、適切に抗菌薬などで治療されれば2/3に減らすことができます。ウイルスによる病気は特効薬がなく、多くが自然に治ります。抗菌薬で治療できる細菌感染症がないかをまずは検索します。

入院しない場合、PCR検査で治療や対応は変わりません

検査陰性でも新型コロナウイルスがないと言い切れないため、人にうつさないように注意が必要です。陽性でも現在効果が証明された特別な治療はありませんので、軽症では対症療法が中心です。

発熱あるいは呼吸器症状のある患者さんへ



多くのウイルスによる病気は、対症療法だけで治ります

新型コロナウイルス感染症でも、80%の患者さんは軽症として自然に治っています。
・十分な休養
・十分な睡眠
・栄養のある食事



発症から7日目までに、症状の改善について電話で連絡ください

新型コロナウイルス感染症の典型的な臨床経過



重症化
軽症
中等症
重症
軽症
中等症
重症
軽症
中等症
重症

他の人にうつさないようにしましょう

新型コロナウイルス以外のウイルスも人にうつしてはいけません（特に重症化する可能性がある方）。一人一人の患者さんが本気で他の人にうつさない行動をとれば、病原微生物は拡散せずに収束します。症状あれば仕事・学校を休んで自宅で安静を保ちましょう。マスク着用や咳エチケットの徹底と手洗いをお願いします。

本日は重症な状態ではないと確認させていただきました。多くのウイルス感染症同様に、自然に収まる新型コロナウイルス（80%）は発症7日目までに改善します。一方、重症化するもの（20%）は7日以降で悪化していきます。この分岐点を見逃さないために発症7日目までに、症状が改善しているか電話で連絡をください。

A) 症状

新型コロナウイルス感染症は、肺炎を起こして重症化します。肺炎は肺の中にバイ菌が入り込み、バイ菌と戦うことで肺の中が膿で水浸しになってしまう状態です。肺は、もともと空気を吸い込んで酸素を体の中に取り込む臓器ですので、水浸しになってしまえば酸素を受け渡すことができなくなり、体の中を巡る酸素の量が減ってしまいます。

新型コロナウイルス感染症に限らず、肺炎が起きて体内に酸素を取り入れる能力が低下することで

- 息が苦しくなる
- 少し動いただけで息切れがする
- 体がとてもだるくて動きたくない
- 呼吸が普段よりも荒い
- だるくて食事食べられない

といった症状が出てきます。これらは重症化するサインになりますので注意が必要です。単に肺炎があるだけでは重症化しているとは言いきれません。肺炎があっても無治療で改善している方は多数いるようです。

B) 検査

新型コロナウイルス感染症を疑う検査所見はいくつかありますが、やはり体の中の酸素の量がとても重要になります。ただし、これは一般的な細菌性肺炎でも同様です。

血液検査のいくつかの項目は重症化のサインとなりますが、市民のみなさんにご理解い

ただくには少し難しい内容となりますので、ここでは割愛させていただきます。

おそらく今後日本全国的に患者数は増えていくでしょう。しかし、今となっては報道などで患者数を数えることに意味はありません。当地域の目標は、新型コロナウイルス感染症による患者数は増えても不必要な死亡者数を増やさないことです。新型コロナウイルス感染症による死亡者も、それ以外の病気による死亡者も、です。

その一つの方策が、重症患者に全力を注げるような仕組み作りです。「自分が新型コロナウイルス感染症なのでは？」と心配になることは重々承知していますが、その心配が重症患者を助けないことは説明してきました。みなさんの冷静な対応で重症患者が助かる可能性が高まります。

新型コロナウイルス感染症が出現しても、心筋梗塞が減るわけではありません。胃癌が自然に治るわけでもありません。それらの病気のほうが、実は新型コロナウイルス感染症よりも致死率が高く怖い病気かもしれません。これらの患者も今まで通りきちんと治って元の生活に戻っていただきたいと思っています。

一方で、やみくもに我慢をしてくださいという意味ではないこともご理解ください。体調が悪いときにはきちんと相談をして、適切に受診をお願いします。新型コロナウイルス感染症は治療薬がまだ確立していませんが、細菌性肺炎や尿路感染症にはきちんと効く抗菌薬が存在します。心筋梗塞や脳梗塞にも確立した治療があります。そのような病気は、早く診断して早く治療を行うことで多くの患者にとって良いことが増えると考えます。

限りある公共の医療資源を、適切に活用していただけますと嬉しいです。

参考文献

The epidemiological characteristics of an outbreak of 2019 novel coronavirus diseases (COVID-19) in China. *Zhonghua Liu Xing Bing Xue Za Zhi*. 2020;41(2):145-151.

Clinical features of patients infected with 2019 novel coronavirus in Wuhan, China. *Lancet* 2020;395(10223):497-506.

高山義浩医師 Facebook